

※感染症の流行などで掲載内容に変更が生じる場合があります。変更があった場合は市ホームページやSNSなどでお知らせします。詳細は各課へお問い合わせください。

①令和6年1月1日現在で市内に在住
対象(すべてに該当する人)
 学校入進学支度金を支給します。

ひとり親家庭小中学校入進学支度金

4月に小中学校へ入進学する児童がいるひとり親家庭に、「ひとり親家庭小中学校入進学支度金」を支給します。

※特別な事情で指定された学校の変更を希望する場合は、1月25日(木)までに「ご相談ください」。

1月上旬に就学通知書をお送りしますので、同封する請書に必要事項を記入のうえ、通知に記載された提出先へ期限までに提出してください。

4月に小中学校へ入学する児童、生徒の保護者のみなさんへ

がんばれ子育て

し、4月に県内の小中学校(特別支援学校を含む)へ入学する児童を監護し、生計を同一としているひとり親家庭の父、母、養育者

※児童福祉施設(母子生活支援施設を含む)に入所中の児童ならびに里親に委託されている児童は除きます。

②令和4年分の所得税が非課税であること

※「年少扶養親族に対する扶養控除の廃止」および「16歳以上19歳未満の者に対する扶養控除の上乗せ部分の廃止」がないものとして計算した場合に、所得税が非課税になる世帯も対象となります。また、ひとり親などが扶養義務者(父、母、兄弟など)と同居している場合は、扶養義務者の所得状況により支給制限があります。

③生活保護を受けていないこと

支給額 5,000円

提出場所 子育て支援課

申請期限 1月31日(水)まで

※申請用紙は子育て支援課にあります。提出書類に関することなど、詳細はお問い合わせください。

↓問合せ 子育て支援課
 ☎274-8557

パパママ学級(申込制)

▼マタニティーヨガと母乳教室

日時 2月3日(土)午前9時30分〜受付午前9時45分〜正午

場所 玉穂勤労健康管理センター

内容 助産師によるマタニティーヨガ、

母乳の話など

※1月の予定は、広報折込の「保健事業のお知らせ」をご覧ください。

申込み・問合せ 健康増進課
 ☎274-8542

1月11日(木)に11月、12月分の児童扶養手当を受給者の口座に振り込みますので、通帳をご確認ください。

※「児童扶養手当」とは、ひとり親家庭を対象に支給される手当です。詳細はお問い合わせください。

↓問合せ 子育て支援課
 ☎274-8557

健康ライフ

新型コロナウイルス接種コールセンターの受付時間を変更します

1月から新型コロナウイルス接種コールセンターの受付時間を変更します。

受付時間 平日 午前8時30分〜正午、午後1時〜5時

※正午から午後1時まででは受け付けできませんので、ご注意ください。

↓問合せ 健康増進課
 ☎274-8542

こころの健康相談

「夜眠れない」「憂鬱な気分が続く」な

1月は児童扶養手当の支給月です

1月11日(木)に11月、12月分の児童扶養手当を受給者の口座に振り込みますので、通帳をご確認ください。

※「児童扶養手当」とは、ひとり親家庭を対象に支給される手当です。詳細はお問い合わせください。

↓問合せ 子育て支援課
 ☎274-8557

どの心の病気が心配な人は「ご相談ください」。なお希望者が多い場合は、医療にかかっていない人を優先します。

カウンセラー面談(要予約)

1月30日(火) 午後1時〜5時

保健師電話相談(予約不要)

1月15日(月) 午後1時〜4時

↓相談・申込み・問合せ 健康増進課
 ☎274-8542

風しんの抗体検査および予防接種はお済みですか

大人になつてから風しんに感染すると、重症化しやすいといわれています。特に、妊娠初期に感染すると胎児に感染し、赤ちゃんが白内障や難聴、先天性心疾患を特徴とする先天性風疹症候群と呼ばれる病気にかかるリスクがあります。

風しんの感染を防ぐためには、ワクチン接種が唯一の方法です。家族にうつさないためにも、ワクチンを接種しましょう。

対象者にはクーポン券を郵送していますので、まだ検査を受けていない人は、助成期限までに受検しましょう。

対象 昭和37年4月2日〜昭和54年4月1日生まれの男性

助成期限 2月29日(木)まで

受検方法 クーポン券を利用して抗体検査を受け、十分な量の抗体がない人に予防接種を実施

↓問合せ 健康増進課
 ☎274-8542

風しんの抗体検査および予防接種はお済みですか

大人になつてから風しんに感染すると、重症化しやすいといわれています。特に、妊娠初期に感染すると胎児に感染し、赤ちゃんが白内障や難聴、先天性心疾患を特徴とする先天性風疹症候群と呼ばれる病気にかかるリスクがあります。

風しんの感染を防ぐためには、ワクチン接種が唯一の方法です。家族にうつさないためにも、ワクチンを接種しましょう。

対象者にはクーポン券を郵送していますので、まだ検査を受けていない人は、助成期限までに受検しましょう。

対象 昭和37年4月2日〜昭和54年4月1日生まれの男性

助成期限 2月29日(木)まで

受検方法 クーポン券を利用して抗体検査を受け、十分な量の抗体がない人に予防接種を実施

↓問合せ 健康増進課
 ☎274-8542

- 相談
- 募集
- イベント・教室
- がんばれ子育て
- 健康ライフ
- 充実ふくし
- いきいき倶楽部

高齢者インフルエンザ予防接種を受けましょう

高齢者インフルエンザ予防接種の助成は1月末までです。対象の人で接種を希望する人は、早めに接種をしましょう。

対象

- ①接種日に65歳以上の人
- ※対象①の人には予診票を郵送済みです。
- ②接種日に60歳から64歳で、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能、またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がい有するものとして厚生労働省令に定められる人(障害者手帳1級相当)
- ※対象②の人で接種希望者には予診票を発行しますので、健康増進課、玉穂・豊富支所へ障害者手帳または医師の意見書を持参し、申請をしてください。

接種期限 1月31日(水)まで

助成金額 2,000円

※生活保護受給者および特定中国残留外国人等支援給付受給者は、無料で接種することができます。接種前に予防接種費免除券の交付を受けてください。

↓問合せ 健康増進課

☎274-8542

献血にご協力ください

冬場は全国的に献血者が減少します。身近な会場で行われる献血に、みなさんのあたたかいご協力をお願いします。

日時 1月10日(水)

午前9時30分～11時30分、

午後0時45分～3時30分
中央市役所

対象 男性 17歳～69歳
女性 18歳～69歳

※400ml献血のみ

※65歳以上の人は、献血される人の健康を考え、60歳から64歳までの間に献血の経験がある人に限ります。

※新型コロナウイルスを接種した48時間後から献血可能です。(ファイザー社・モデルナ社に限る)

▼混雑緩和のため、事前の予約をご利用ください

当日は混雑が予想されます。「ラブラッド」に会員登録すると、献血の予約ができるほか、次の特典があります。

- ①全国どこでも献血の予約が可能
- ②ポイントがたまる
- ③血液検査の結果通知が早い
- ④会員限定のキャンペーンや特典が届く

予約方法 左記のURLから「ラブラッド会員」に登録して、マイページから予約URL <https://www.kenketsu.jp/Login?startURL=%2FMyPage>

↓問合せ 健康増進課

☎274-8542

充実ふくし

国民健康保険の医療費通知の発送

国民健康保険の医療費通知の発送時期

についてお知らせします。

令和5年9月、10月診療分↓

令和6年1月下旬発送予定

令和5年11月、12月診療分↓

令和6年2月下旬発送予定

※医療費通知がお手元に届く前に申告される人は、従来通り医療費控除の明細書を作成してください。

↓問合せ 保険課 ☎274-8545

介護者のついで

忙しい日常から離れ、講話を聞きながらほっと一息つきませんか。

日時 1月31日(水)

午後1時30分～3時30分

場所 中央市役所

内容 坂本玲子氏(精神科医)による講話「こころ豊かに生きるには〜こころにゆとりを持つ方法〜」

対象・定員 介護に興味、関心のある人 50人(先着)

申込期限 1月24日(水)まで

↓申込み・問合せ 地域包括支援センター ☎274-8558

介護保険料の口座振替手続きのお願い

介護保険料は、必ずしも特別徴収(年金天引き)になるわけではなく、65歳になつたばかりの人や中央市に転入してきたばかりの人、所得段階が変更になった人などは普通徴収(納付書払い)となります。介護保険料を普通徴収で納める場合

は、口座振替にすると納め忘れがなく便利です。通帳と印鑑を持参して取り扱い金融機関で手続きをするか、キャッシュカードを持参して長寿推進課で手続きをしてください。

※介護保険料についての詳細は、市ホームページまたは介護保険料の通知を送付する際に同封するパンフレットをご確認ください。

↓問合せ 長寿推進課 ☎274-8556

20歳になると日本年金機構から国民年金のお知らせが届きます

国民年金は、やがて訪れる長い老後や、事故や病気で障がいが残った場合などの生活の安定を損なう事態に備え、保険料を出し合い、お互いを支えあう制度です。20歳から60歳になるまでのすべての人は、国民年金に加入することが法律で義務付けられています。

20歳になった人には、日本年金機構より「国民年金加入のお知らせ」が届きますので内容を「ご確認ください」。

※仕事をしていて勤務先の厚生年金、共済年金に加入している人は除く。

※次の①②に該当する人は国民年金第1号被保険者として加入する必要はありません。

- ①20歳前に海外出国した人
- ②20歳になったときに配偶者(厚生年金・共済年金)に加入している人の扶養となつている人

お知らせ

相談

募集

イベント・教室

がんばれ子育て

健康ライフ

充実ふくし

いきいき倶楽部

※感染症の流行などで掲載内容に変更が生じる場合があります。変更があった場合は市ホームページやSNSなどでお知らせします。詳細は各課へお問い合わせください。

※20歳になってから概ね2週間以内に「国民年金加入のお知らせ」などが届かない場合は、国民年金加入手続きが必要のため、市役所または竜王年金事務所所で手続きをしてください。

↓問合せ 保険課 ☎274-8545
竜王年金事務所 ☎278-1100

いきいき倶楽部

まごころ学園 第9回学習会

▼食生活改善プログラム「味噌玉作り」
食生活からフレイル予防を考える学習会を開催します。味噌玉作りの実習を取り入れて、食から健康なからだづくりについて学びます。

日時 1月23日(火)午後1時30分～3時
場所 玉穂総合会館

講師 中央市食生活改善推進員
対象・定員 まごころ学園生徒 30人(先着)

持ち物 筆記用具、エプロン、三角巾
申込期限 1月17日(水)まで

※会場までの移動は、送迎バスを運行します。詳細はお問い合わせください。

※まごころ学園は65歳以上の市民であれば、どなたでも入会できます。入会の申し込みは、随時受け付けています。

↓申込み・問合せ 生涯教育課
☎274-8522

お知らせ

相談

募集

イベント・教室

がんばれ子育て

健康ライフ

充実ふくし

いきいき倶楽部



地域生活支援拠点事業について

障がいがある人が住み慣れた地域で、安心して暮らせるように支援する事業です。障がいがある人やその家族の緊急時に、関係機関が連携して地域生活を支援します。

緊急時とは 介護者やほかの家族が急病などで介護ができなくなった場合をいいます。

対象 在宅生活をしている障がいがある人

事業内容

- ・緊急時の相談支援
- ・緊急時の受け入れ対応
- ・サービスなどの体験の機会や場の提供
- ・専門的人材の確保と育成
- ・地域の体制づくり

※緊急時に必要な情報を把握するために、事前登録が必要です。

↓問合せ 福祉課

☎274-8544



脳梗塞の最新治療

山梨大学医学部附属病院 脳神経外科 准教授 吉岡秀幸

【脳梗塞とは】

脳梗塞とは、脳に栄養を送る血管が詰まり、脳がダメージを受ける病気です。人口の高齢化に伴い、年々患者数は増えていますが、ダメージを受けた脳の部位で症状は異なりますが、運動障害(手足が動かない)や言語障害(言葉が上手く話せない、理解できない)のほか、認知症の原因となることもあります。

【脳梗塞の原因と予防法】

脳梗塞には、血管の老化(動脈硬化)により血管自体が細くなって詰まるもの(ラクナ梗塞とアテローム血栓性脳梗塞)と、心臓にできた血の塊(血栓)が流れて、脳の血管を詰めるもの(心原性脳塞栓症)があります。動脈硬化は、高血圧や脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病と、喫煙や運動不足などの不健康な生活習慣により悪化しますので、生活習慣を見直し、これらをしっかりと治療することが重要です。一方、心臓に血栓ができる主な原因は、心房細動という不整脈です。動悸などの症状があれば早めの医療機関の受診が必要です。

【急性期再開通療法】

(一)血栓溶解療法
脳の血管が詰まると、時間の経過とともに脳のダメージが進み、ついには完成します。その前に血栓を「tPA」という薬で溶かし、血流を再開させ、脳の働きを取り戻すのが、血栓溶解療法です。脳梗塞が完

成してしまう4・5時間以内であれば治療可能ですが、出血や大けがの後では、この薬を使用することができません。

(二)血栓回収療法

「tPA」を使用できない場合や、効果が無い場合には、血栓回収療法を検討します。この治療では、足の付け根の血管から、カテーテルと呼ばれる細い管を脳内の詰まった血管まで進め、金属製の小さな網目状の筒(ステント)で血栓を捕らえて体外へと除去します。

この方法により、以前は治療できなかった患者さんも、完全回復する可能性ができました。血管が詰まってから治療開始までの時間が早ければ早いほど効果が高いため、脳梗塞と思われる症状が出たらすぐに医療機関を受診する必要があります。

【山梨大学での脳卒中治療】

山梨大学は、24時間365日、脳卒中患者を受け入れ、血栓溶解療法や血栓回収療法を含めた治療を速やかに開始できる一 次脳卒中センターコア施設(地域の中心となつて脳卒中を治療する病院)に、山梨県で唯一認定されています。直接救急車で来院される患者さんはもちろんのこと、血栓回収療法を常時実施できない施設とも連携し、一人でも多くの脳卒中患者さんを救えるよう、医療を提供しています。

企画 一般財団法人 里仁会